

1 研究主題

「言葉を大切にする子どもの育成」

2 研究主題設定の意図

今年度も昨年度に引き続き、「言葉を大切にする子どもの育成」を研究テーマとした。新指導要領の実施に伴い、これまでの研究の成果を授業の中でどのように位置づけていけるかを研修することに意義があると考えたからである。

3 事業の実際

4月 部長・副部長選出
研修テーマ・活動計画立案



5月 講演会 「言葉を大切にする子どもの育成」
講師 外ヶ輪小学校 小坂井 博 教頭先生

- ・「考える力を育てる作文指導について」～県小教研学習指導改善調査の活用～
- ・実際のテストを使って、グループで意見交流を図る。どの学年での指導ができていなかったかを見極め、その部分の指導を強化していく。
- ・指導の実践例をたくさん紹介していただき、その際の指導のポイントを教えていただいた。

12月 授業研究 「ちいちゃんのかげおくり」
授業者 紫雲寺小学校 佐久間 誠一 先生
指導者 佐々木小学校 長谷川 綾子 校長先生



- ・授業前から、子どもたちはそれぞれ音読を開始した。どの子もはっきりした口調で気持ちをこめて読み、終わった子から漢字練習をして待っていた。授業に対して真剣に取り組む姿が見られ、日々の取り組みの成果が感じられた。
- ・授業では、「ちいちゃんは幸せでしたか。」という発問に対して、児童は自分なりの考えをノートに書き、隣の友だちにそう思った理由も入れながら説明していた。その後、「幸せか」「幸せでないか」について自分の立場をネームプレートで示すことで、自分と考えが違う友達との意見交換も活発に行えた。その結果、全体で話し合いでは、全員が発表し、自分の考えをより明確にすることができた。一人一人の読みを大切にする授業のよさを痛感した。
- ・これまで積み上げてきた「話し合いの基本」が生かされ、相手の考えを大切にしながら、温かい気持ちで友だちの意見を受け入れる子どもたちの姿が印象的だった。また、物語の本文を根拠にしながら話す姿勢から、言葉を大切にする気持ちも育っていることを強く感じた。
- ・物語全体を通して「ちいちゃんは幸せでしたか。」ということ問い続けている児童が最後にどんな思いを綴るかが本当に楽しみだ。

